

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の  
結果をふまえた指導改善策

I 調査の概要

1. 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 上記のような取組みを通して、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査の対象

小学校第6学年・義務教育学校第6学年の児童

3. 調査の内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数）
- (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
  - ・児童に対する調査
  - ・学校に対する調査

4. 調査日時

平成31年4月18日（木）

II 学力調査の結果【小学校・義務教育学校前期課程】

1. 教科に関する調査結果（平均正答率※）

	国語	算数
全 国	63.8	66.6
広島県	66	68
府中市	71	69
旭小学校	68	71

※平均正答率とは、「児童の正答数の平均」÷「設問数」の値を、%で表わしたものです。

## 2. 調査結果にみられる特徴と課題及び今後の改善策

### 【国語】特徴と課題

- ◇目的に応じて文や文章全体を概観して効果的に読む。(93. 2)
- ◇目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む。(86. 4)
- ◆目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にして、まとめて書くことができる。(34. 1)
- ◆学年別漢字配当に示されている漢字を文の中で正しく使う。(38. 6)

◇…相当数の生徒ができている点 ◆…課題のある点

### 【国語】改善策

- 発言の際は、必ず自分の考えの根拠や理由を言わせる。
- さまざまな場面（各教科、調べ学習、新聞学習等）で目的に応じて、情報を取捨選択して、自分のことばで表現し、評価し合う指導をする。
- 「○年生で読みたい本30冊」を示して全校で読書習慣を培う。
- 辞書を活用させ、文脈の中で言葉の意味や内容を理解し、語彙量を増やす取組みを行う。
- 全校で毎週末に漢字テストを行い、漢字の定着を図る。

### 【算数】特徴と課題

- ◇台形について理解している。(93. 2)
- ◇棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる。(90. 9)
- ◆示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる。(27. 3)
- ◆示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる。(47. 7)

### 【算数】改善策

- 文意を理解させるために様々な図等で表す方法を系統的に指導し、イメージ化させる。
- 算数用語の意味を確実に理解させる。
- 図や言葉・式と関連させながら、算数用語等を使って説明させる指導を継続して行う。
- 日常生活の事象と関連させ、効率的に処理できる考えのよさや働きに気付かせる授業を仕組む。
- 基本的な計算力をつけるためにドリルタイムを活用し、目標に対する伸びを記録する。

### Ⅲ 学習状況調査の結果

#### 1. 学習状況調査（児童質問紙）の結果にみられる傾向

肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも高かった項目

- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか。  
(本校 88.8% 全国 68.0% 差 +20.8%)
- ・学校の授業時間外に、普段1日当たりどのくらいの時間、勉強をしていますか。  
(本校 35.5% 全国 29.2% 差 +6.3%)

肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも低かった項目

- ・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。  
(本校 48.8% 全国 74.0% 差 -25.2%)
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。  
(本校 35.5% 全国 54.4% 差 -18.9%)
- ・昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。  
(本校 2.2% 全国 17.2% 差 -15.0%)

#### 2. 生活習慣・学習環境などに関する改善のポイント

○課題発見・解決学習や場面の充実

- ・様々な教科・領域で課題発見・解決学習を行うことで、主体的な児童を育成する。
- ・学級活動の話し合いや自治的な活動等を通して、児童に課題解決をさせるなかで、互いのよさを見つけ合ったり、自分のよさを発見したりするような活動を仕組む。

○地域交流の充実

- ・地域の一員としてできることを考え、参画させることで、人の役に立つ経験をさせる。
- ・コミュニティ・スクールの取組み（地域清掃、セイフティ信和訪問、高齢者交流会、ゲストティーチャーの招聘、学校支援ボランティアの活用等）を充実させる。

○読書体験の充実

- ・全校による週末読書、「〇年生で読みたい本30冊」、読書貯金等の取組みで、読書量を増やす。
- ・学校図書館職員や図書委員会、府中市立図書館を活用し、読み聞かせやお勧めの本の紹介調べ学習等を行う。